

英国政府主催 紛争下の性的暴力防止イニシアティブ（PSVI）国際会議
高木外務大臣政務官ビデオメッセージ

2022 年 11 月 29 日

御出席の皆様、日本国外務大臣政務官の高木啓です。まず、紛争下の性的暴力防止イニシアティブ（PSVI）に関する英国のリーダーシップに感謝します。本日の会議に日本政府を代表しメッセージを寄せることができ光栄です。

紛争下における性的暴力は、今日の国際社会の平和と安全を脅かす重大な犯罪です。ウクライナにおいてもロシア兵による性的暴力の事例が報道されており、非常に懸念しています。この暴力の防止には、司法の強化によって加害者を処罰し、不処罰の文化を終焉させることが重要です。そうした観点から、日本は本イニシアティブを継続して支持しています。

本イニシアティブへの支持を日本として具体化している例として、日本は国際社会における法の支配の強化を掲げ、国際刑事裁判所に対する最大の分担金拠出国として、同裁判所の運営に対する支援を含め、人的・財政的に様々な貢献を実施しています。

また 2014 年以來、紛争下の性的暴力防止担当国連事務総長特別代表の活動を支援し、同事務所を通じて主にコンゴ民主共和国、中央アフリカ、ソマリア、レバノン、イラクなどで加害者訴追のため司法の強化支援を実施しています。

こうした制度面の整備のみならず、今まさに苦しんでいる生存者の方々に寄り添い、迅速かつ包括的に支援することが何より大事です。日本はこれまで ICC の被害者信託基金にも拠出し、生存者自身の支援と生存者を取り巻くコミュニティによる差別をなくすための啓発活動を支援したほか、UN Women や UNFPA

などの国際機関を通じても生存者に対する医療支援や経済的自立のための支援を行っています。更に「紛争関連の性的暴力生存者のためのグローバル基金」に対しても 2020 年からこれまでに計 600 万ユーロを拠出し、同基金の理事会メンバーとして運営に関与し、生存者支援に取り組んでいます。

日本は今後も、本イニシアティブのチャンピオン国として、英国はじめ同志国の皆さまと連携しつつ、紛争下の性的暴力を防止するための様々な支援や活動が続けていく所存です。

御清聴ありがとうございました。本国際会議が実りあるものとなることを祈念します。

(了)